

# 有身体表現におけるコンテンポラリーダンスの独自の文法

永 田 美 和\*

NAGATA Miwa

## 1 はじめに

この論文では、ダンスの表現の独自性について考察していく。特にコンテンポラリーダンス<sup>1</sup>を扱う。

古来より人間は様々な表現行為を行ってきた。人間によってなされる表現には、多種多様なものがある。たとえば、言葉によって表現するものが詩や小説等になる。絵によって表現するものが絵画となる。物語を絵によって表現すると漫画になる。それを動画で表現するとアニメーションになる。物語を人間が実際に演じて表現すると演劇になり、動画で表現すると映画になる。こうした種多様な表現の中にダンスがある。ダンスは、上で示したような様々な表現とは異なる独自の表現行為であるといえるだろう。

コンテンポラリーダンスという、ダンスの一ジャンルがある。これは、単に美しさのみを求めるものではない。むしろ、人間本来の感情を表現することが出来る、ダンスにおける稀有なジャンルである。コンテンポラリーダンスの最も象徴的な特徴として、型がないということがあげられよう。他のダンスとは異なり型がないために、コンテンポラリーダンスには「正解」や「不正解」がないともいえる。そうであるから、身体を手段として美しいもの／ことだけを表

---

\* 2021年度九州国際大学現代ビジネス学部国際社会学科卒業生

1 この論文では、「コンテンポラリーダンス」という表記と [contemporary] という表記を併用しているが、文脈に応じて使い分けているものの、同じものを指している。

現することのみが芸術的表現ではないということを識ることが、コンテンポラリーダンスを通して、我々ができることのひとつであるともいえるだろう。

「表現（expression）を行い、受け手の側に印象（impression）を与える」というプロセスが起こる過程の中で、表現者と受け手の間に共感が生まれることは、芸術作品の特長のひとつである。身体表現であるダンスにおいても、このことはいえるだろう。ではダンスにおける共感とは、どのようなものであるだろうか。

本論文では、人間の歩んできた歴史における芸術表現のひとつとしてのダンスに着目し、表現者から受け手に対するアプローチや、ダンスそれ自体の在り方について、それらの変化について考察する。次に、身体表現とはどのようなものであるかについて、身体表現であるダンスを具現化・抽象化し、「型」の有無を比較する。その際に、言語あるいは発話行為における共通のコードのようなものが存在すると仮定する。そのうえで、それを基盤としつつ、さらに共通性や差異性を見出すことを試みる。それらの考察を踏まえたうえで、コンテンポラリーダンスが、身体表現であることを前提とした上で、身体と精神の融合により独自の文法に則ってダンサー個々人がダンス表現を行っていることについて考察していく。

## 2 人間の歴史に伴い発展してきた芸術表現について

人間は古来、様々な表現をおこなってきた。それは、ラスコー洞窟の壁画<sup>2</sup>に狩猟の様子が描かれていることなどからも明らかである。また、古代ギリシャにおける、ホメロスによる『イリアス』<sup>3</sup>や『オデュッセイア』<sup>4</sup>といった、

---

2 水村光男 [2016]、pp.1-111

3 アレッサンドロバリッコ・草皆伸子 [2006]、pp.1-228

4 バーバラ・レオニ・ピカード（高杉一郎訳）[2014]、pp.1-272

トロイア戦争を描いた英雄叙事詩や、ヘロドトス『歴史』<sup>5</sup>といった史実に関する語りからも明らかである。

これらは、図像や言葉による表現である。それ以外にも、動きを伴った表現も、古来なされてきた。例えば、『鳥獣戯画』<sup>6</sup>は巻物としてひとつながりの紙に、ウサギやカエルといった生き物たちが躍動する姿が描かれており、さらにそれが一連のストーリーとして展開されているものである。また、近代以降では、コマ割りがなされた漫画も描かれるようになり例えば、日本におけるこのような形態のコマ割りの漫画は第二次世界大戦以前にすでに描かれていた<sup>7</sup>。田川水泡が『少年倶楽部』において連載していた『のらくろ』<sup>8</sup>などはその好例であろう。そして、このようなコマ割り漫画は、現代でも多くの人に読まれている。

絵を動かした表現も、映像技術の進展とともに発展してきた。アニメーションや映画がこれにあたる。アニメーションは、一枚一枚の絵を撮影して1秒間に24コマを連続してスクリーンに投影することで、動きを表現する技法である。映画は、実際に演技をしている人間を撮影し、それをスクリーンに投影するものである。

これらの表現は、およそすべて何らかの動きを表現したものであると解することもできるだろう。『イリアス』であれば、歴史の中の人々の躍動を英雄叙事詩として、『のらくろ』であれば主人公の野良犬黒吉ことのらくろが猛犬連隊の中で活躍する姿を漫画として、アニメーションであれば宮崎駿がセル・アニメーションの調子を残した表現技法によって<sup>9</sup>、それぞれがそれぞれの手法で、動きを表現したものである。

では、人間による「動き」を表現するものとして、より根源的かつ本質的な

---

5 ヘロドトス（松平千秋訳）[2008]、pp.1-536

6 高山寺・京都国立博物館 [2016]、pp.1-256

7 家島明彦 [2007]、pp.166-180

8 田川水泡 [1967]、pp.1-805

9 豊原正智 [2014]、pp.29-39

ものは何であろうか。それは、ダンスであろう。すなわち、絵画や詩や漫画や映画といった自分の身体以外の何らかの表現技法によるものではなく、ダンスは自分の身体のみを用いた表現形態であろう。

### 3 身体表現としてのダンス

#### 3.1 人間の歩んできた歴史に伴い発展してきたダンスについて

##### 3.1.1 最古といわれているダンス [belly]

ダンスは古代より人間の歴史とともに生活の中で身体表現として生まれ変化し続けている。ダンスの歴史は諸説が存在し起源が明らかにされてない。しかし、[belly]を最古のダンスとみなす解釈もある。それは、約8000年前に女神崇拝のための儀式として出産の痛みを紛らわすためや農作物の豊作の願いを込めるために、女性がアラビアンダンス（後にベリーダンス）を踊った記録が壁画として数多く残されていることによる。そして、[belly]を最古のダンスとみなし、ジプシーらがインドから西へ旅を行いその土地の民族舞踊と自分たちスタイルを融合させストリートパフォーマンスを行ったことでショースタイルが発展したとされる<sup>10</sup>。

##### 3.1.2 日本の神話 芸能の神「アメノウズメノミコト」

日本においても、舞踊が『日本書紀』に記載されていることから、古代に既に舞踊がなされていたと考えられる。「日本書紀」には、天岩戸に隠れたアマテラスを外に出すために熱狂的な踊りを魅せたとする記述がある。この岩戸隠れの伝説芸能の女神、アメノウズメノミコトが最古の踊り子とされている。こ

---

10 一般社団法人日本ベリーダンス連盟「ベリーダンスとは」(<http://japanbellydance.com/bellydance/>)、2020年10月20日最終確認

11 竹中淑子・根岸貴子 [2012] pp34-39



のように、古代からダンスは形や立場を変化させながら存在し続けている<sup>11</sup>。

このように、古代においては、宗教や祭事での儀式としてのダンスあるいは舞踊がなされていたとされる。その後、ダンスや舞踊は、宗教儀式から独立した芸術表現としてのダンスと変化していき、現在ではバレエや民族舞踊などの他に、ストリートで発展してきたストリートダンスも、芸術表現としてのダンスの一ジャンルとして、様々なメディアで広く知られるようになってきている。

### 3.1.3 ストリートダンスの歴史

現代のダンスのひとつに、ポップカルチャーにおけるダンスとしてのストリートダンスがある。これらは、現在も変化し続けているため、書類や論文になっていない。したがってここでは、現代のダンスシーンの断面を動画として切り取っているものとしてYouTubeにアップされている動画や、大手のダンススクールが記載している記事を参照しつつ紹介していくこととなる。

#### （1）西海岸 [soul] [lock] [pop] [waack] [punking] [krump]

ストリートダンスは、路上で踊るダンスで1960年頃に黒人文化の中で発展したビートとリズムを特徴とするブラックミュージックに合わせて踊ることを起源としている。1927年には既にジャズミュージックに合わせて踊るリンディーポップが誕生していた。これは、スウィング・ジャズに乗ってダンスを踊るものである<sup>12</sup>。

その後、ストリートダンスは1970年にアメリカの西海岸と東海岸で急発展する。その契機のひとつとなったものに、アメリカの公民権運動における黒人差別への異議申し立ての主張がある。1964年にマーティン・ルーサー・キングJr.がノーベル平和賞を受賞し、その翌年に投票権法が制定された。しかし、その一

---

12 日本スイングダンス協会「スイングダンスとは」(<http://swinginjapan.com/lindyhop/>)、2020年10月20日最終確認

方で、黒人指導者の暗殺事件が相次いだ。そのような激動の時代を経て<sup>13</sup>、アメリカ西海岸では、1950年から1960年頃に自然発生的に生まれたソウルミュージック<sup>14</sup>という音楽にのせて踊る[soul]が誕生した。

その後、黒人のための『Soul Train』という番組で世に広く知られるようになり、ドン・キャンベルが当時流行していたダンスの技であるfunky chickenを上手く踊れず、それがオリジナルとなり鍵をかけるように体を静止する技であるlock、観衆を指す技であるpointなどのスタイルを不動のものにした[lock]<sup>15</sup>というジャンルが誕生した。その後もsoul trainにも出演していた兄弟のブーガル・サムとポッピン・ピートが1960年代の未来映画にインスパイアされロボットダンスをベースに全身の筋肉を弾くような動きpopinをサムが開発し[pop]が誕生した。

更には、Los Angelesのゲイのカルチャーにおいて、マリリン・モンローなどの女性スターの静止画やミュージカルの真似をするポージングから派生した、腕を鞭のように振りまわすことを特徴とする[waack]や[punking]が誕生した<sup>16</sup>。1990年頃には、犯罪発生の多いLos Angelesのサウスセントラルの過酷な状況の中で生きる若者達が、ドラッグやギャングから逃れ厳しい環境を生き抜くための手段として生み出された[krump]が誕生し、『Rize』という映

---

13 ストリートダンスの歴史「1970年代の時代背景と音楽の関係性」(<https://allabout.co.jp/gm/gc/427116/>)、2020年10月20日最終確認

14 ソウルミュージックとは、神をたたえる音楽とされているゴスペルを世俗化させた大衆音楽である。当時の白人文化を優位に見る思想に疑問視した黒人が自己肯定の思想を叫び生み出した魂(ソウル)の音楽であり、レイ・チャールズがその火付け役となった。BLESSING CHURCH INTERNATIONAL「ソウルミュージック音楽とは? おすすめ名曲や歴史・ゴスペルとの関係」(<https://blessingchurch.org/blog/2019/10/10/soul/music>)、2020年08月27日最終確認

15 この先、[ ]で囲ったものは、ダンスのジャンルを表すこととする。

16 ストリートダンスの歴「1970年代の時代背景と音楽の関係性」(<https://allabout.co.jp/gm/gc/427116/>)、2020年12月28日最終確認ちなみに、[waack]は、この綴りが正しい。

画で世に広まった<sup>17</sup>。

## （２）東海岸 [break] [hiphop] [new jack swing] [house]

一方この時代のアメリカ東海岸では、New Yorkのブルックスでのギャング抗争の際に、銃撃戦の代わりにダンスの技でバトルを行うことで決着をつけたことから発展し、[break] が誕生した。その後、ブレイクダンスやヒップホップダンスを得意とするグループであるRock Steady Crewがメディアの関心を多く受けたことが契機となり、[break] はストリートダンスへ急成長した。DJであるクール・ハークが発明したbreak beatに合わせて踊ることを特徴とする。このDJクール・ハークがbreak beatを発明し、音楽を用いて公園でブロックパーティーを行った際に絵を描くグラフィティーや音楽に合わせて踊るダンサー、ダンスバトルの仕切るMC、アンダーグラウンドでのラップが誕生した。これらの要素を全て合わせたものがhip hopである。1980年代後半に大ブームを巻き起こした音楽「New Jack Swing」以降、それらのステップに[lock] や[pop] の要素を融合した現在の[hiphop] が誕生していった。

さらには、1970年代頃にNew Yorkで「パラダイス・ガラージ」というクラブが誕生し、そのDJであったラリー・レヴァンがディスコミュージックから派生した、電子機器の自動演奏やリズムマシンによる独特のビートを持つhouse musicを作ったことから、[hip hop] や[break] などの足の捌きを利用しながらステップを踏む[house] が誕生した<sup>18</sup>。

ここまでで取り上げたストリートダンスは現在のダンス界の主流ジャンルであり世界中でダンスバトルが開催され世界競技として発展している。

---

17 DEWS「24種類のダンスを経験者が徹底解説！」（<https://dews365.com/archives/144255.html>）、2020年08月27日最終確認

18 DEWS「24種類のダンスを経験者が徹底解説！」（<https://dews365.com/archives/14255.html>）、2020年10月19日最終確認

### 3.1.4 ストリートダンス以外のダンス [ballet][hula][社交][flamenco][tap][jazz]

ストリートダンス以外のダンスとしては、12世紀にヨーロッパの宮殿舞踊でもともと民衆の中で踊られていたワルツを王侯貴族の中で踊り始めた[社交]ダンスから、1400年に音楽演奏・舞台芸術を伴う[ballet]がイタリアで誕生し、その中から、フランス革命後ロマン主義を受け継いだballet、ロシアで発展したclassic balletに続きクラシックに対抗したmodern balletが誕生した<sup>19</sup>。

また、1500年にはスペインで民族芸術・歌・ギター・踊りの要素から生まれた[flamenco]<sup>20</sup>や、伝統や神話がベースとなる神聖な踊りとしての[hula]<sup>21</sup>、足を踏み鳴らすことでリズムやムードを表現する[tap]等が世界中で次々に誕生した。そして、[tap]のようにリズム表現をし発展の過程で[ballet]やストリートダンスを取り入れた[jazz]<sup>22</sup>が生まれた<sup>23</sup>。誕生には諸説あるものの、[jazz]は、アメリカで生まれたストリートダンスの要素に加え、[tap]や[ballet]を合わせたものともされ主にバレエの基礎を要素とするが、はっきりとした形のないことが特徴となっている。

## 3.2 様々な時代を経て作られた先端を行くダンス [contemporary]

先に述べた通り、アメリカでは、政府や貧富の差において人間の本来の力を訴えるストリートダンスが黒人文化から発展した。フランスでは、貴族が踊ることを許された[classic ballet]が誕生し、その動きに対抗した[modern

---

19 簗島桂 [2005]、pp.89-99

20 手下倭里亜「フラメンコの歴史とは？スペインの伝統芸能」『AllAbout』（<https://allabout.co.jp/gm/gc/424534/>）、2020年10月20日最終確認

21 MuuMuuMama「フラダンスの起源とその歴史」（<https://allabout.co.jp/gm/gc/424534/>）、2020年9月14日最終確認

22 このように[jazz]と表記されたものは、ダンスのジャンルとしてのいわゆるジャズダンスのことである。

23 DEWS「24種類のダンスを経験者が徹底解説！」（<https://dews365.com/archives/14255.html>）、2020年10月19日最終確認

ballet] とその他のダンス、そしてそれらを融合した [jazz] が、それぞれ発展していった。

これらの時代を経て、衣装・音楽・踊りに制限がない自由に表現する [contemporary] が、1980年代に生まれた。この [contemporary] は、既成のダンスに属さないため、形も様々である。そのようなダンスであるがために、前衛的で難解な作品の多いことが特徴となっている。[contemporary] は、非古典的であり、かつ時代の先端を表現しているダンスの一ジャンルと言われている。そのためダンサー自身の発想や表現そのものが重視される。

ここからはこれまでのダンスの歴史を踏まえて時代の先端を表現している [contemporary] について考える。

[contemporary] は、1980年にフランスで誕生した。1400年代にイタリアで [ballet] が誕生し、1970年代から1980年代のフランスではパリの伝統芸術品をフランス全土に広める動きがあった。しかしこの動きはパリのみに留まりあらゆる権威を持つオペラ座を中心に classic ballet が普及した。この時代はクラシックという規律の多い音楽で上層貴族のものだけが踊ることを許されていたと考える。しかしその後ロシアにクラシックが移り低迷し1960年代にドイツやアメリカで規律の多いクラシックに対抗した modern dance が普及したことから、1968年にこれまでの政府の格差のある政策に対する不満を積もらせたパリの大学生が五月革命で暴動を起こしたことが自由さを求める [contemporary] ダンスが生まれるきっかけとなったと考えられる。フランス政策と同様である規律の多いものから形の定まっていない自由さがそこに求められた。これらの動きに対しフランスにおいてのダンスは1970年代に徐々にクラシックから [contemporary] へと転換し1990年代には [contemporary] が主流となった。しかし、このような考えから国により [contemporary] が保証されたが故に伝統的なクラシックが軽視されつつあることが課題となっている<sup>24</sup>。

---

24 簗島桂 [2005]、pp.89-99

## 4 ダンス表現の具現化・抽象化

### 4.1 様々なダンスにおける「型」と「即興性」の比較

#### 4.1.1 ストリートダンスとそれ以外のダンスの比較

これまで歴史のなかで宗教的な儀式の中で踊られたダンス、アメリカで発祥した[hiphop]や[break]等のストリートダンス、それ以外のダンス、時代の先端を表現するといわれる[contemporary]を紹介してきた。ここからは、これらのダンスを具現化・抽象化しながら、これまで研究がされてこなかった、[contemporary]のダンサーと観客の間の共感がいかにしてなされるかについて、考えていく。

アメリカで生まれた[soul][lock][pop][waack][punking][krump][break][hiphop][new jack swing][house]といったストリートダンスの様々なジャンルだけでなく、これ以降では、[belly][ballet][hula][flamenco][社交][tap][jazz]も含めて比較する。

これらに共通することは「型」があり、それをベースとして個性を表現することである。この「型」というのは、それぞれのジャンルを特徴づける動きの技のことである。第二章でみたように、それぞれのジャンルには、そのようなそれぞれの技すなわち「型」があり、それらが各ダンスを特徴づけている。

ストリートダンスの基本は、ブラックミュージックに合わせてビートやリズムを持つ8拍子の音楽に表の音を取るアップや裏の音を取るダウンの動きを基本として踊ることである<sup>25</sup>。この基本のアップやダウンの動きから派生した、それぞれのジャンルごとに特徴づけられる技（すなわち「型」）が存在する。

これらの型の写真を以下に示しておく。

---

25 DEWS「24種類のダンスを経験者が徹底解説！」(<https://dews365.com/archives/14255.html>)、2020年10月19日最終確認

図1（左）、図2（右）



[soul] の tilt という技である。図1のように左手を上げ、それを図2のように下すのが、この技の基本的な動きである。その際に体を少し動かす<sup>26</sup>。

図3（左）

図4（右）



図3は [lock] のトゥエルという技である。手首を回転させながら腕を上げて降ろす動作を連続で行う<sup>27</sup>。図4は [lock] のロックという技である。鍵にロックを掛ける様を表現する<sup>28</sup>。

26 おどりびと「[soul lesson] ティルト / tilt 一番やりやすい形で・GUINNESS ユリッチレスン風景」[2020] (<https://www.youtube.com/watch?v=kw70aG28Jjk&t=84s>)、2021年1月11日最終確認

27 FavMocha [2008] 「dance style lockers 04 twirl pt. 1」([https://www.youtube.com/watch?v=UvdmQ2\\_J0GE](https://www.youtube.com/watch?v=UvdmQ2_J0GE))、2020年12月21日最終確認

28 Zapparr@JPN [2008] 「original lock dance /the lockers」(<https://www.youtube.com/watch?v=2iN5CfVPRzU>)、2021年1月3日最終確認

図5



図5は「Pop」のヒットという技である。ビートに合わせて腕の筋肉を弾くように打ちながら足でもリズムをとる技である<sup>29</sup>。

図6（左）、図7（右）



図6、図7は「Waack」のワックアタックという技である。腕を上げ、その腕を下すことを繰り返す<sup>30</sup>。

---

29 JfonK01 [2007] 「BooGaloo Sam part1 (<https://www.youtube.com/watch?v=929Y8LQrUGE>)、2020年12月12日最終確認

30 Korea waackinginternational [2014] 「「WI2014」 JUDGE DEMO -TYRONEPROCTOR (USA)」 ([https://www.youtube.com/watch?v=52LCjVu5aIU&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=52LCjVu5aIU&feature=emb_logo))、2021年1月7日最終確認



図8（左）、図9（右）



図8、図9は、[Punking]のトゥエルという技である。腕を上下させる際に回転させることが基本的な動きである。応用例も多い<sup>31</sup>。

図10（左）、図11（右）

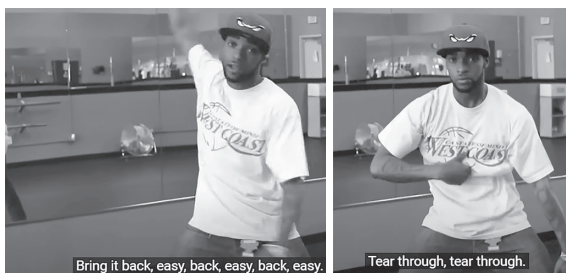


図10、図11は、[Krump]のアームスィングという技である。上げた腕を振り下ろし、体の前に戻してくる<sup>32</sup>。

31 Clover Do[2019]「[Catgroove]Smile|soul&punking|Choreography by Katt Wang」(<https://www.youtube.com/watch?v=x-AnrZo44Xs>)、2020年12月21日最終確認

32 HowcastArtsRec「How to Do an Arm Swing|Krumping」[2011] ([https://www.youtube.com/watch?v=cfc-czpK7YM&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=cfc-czpK7YM&feature=emb_logo))、2021年1月3日最終確認

図12（左）、図13（右）



図12、図13は、[Break] のトップロックという技／型である。表と裏のビートに合わせて、足を前後に動かしながらステップを踏む<sup>33</sup>。

図14



[Break] のチェアという技である。片腕で全体重を支える<sup>34</sup>。

---

33 Zen 「How to Breakdance:Top Rock Level!」 [2013] (<https://www.youtube.com/watch?v=zrHv3KBXbmQ>)、2020年1月7日最終確認

34 MetroPolitanDesignLab 「breakchair」 [2020] (<https://i.pinimg.com/originals/6b/33/f3/6b33f3b689f4dbc5bcea98ca185b2485.jpg>)、2020年11月16日最終確認

図 15（左）、図 16（右）



図15、図16は、[Break] のトーマスという技である。両腕で体を支えて、両足を広げて回転する。この図のように低い体勢で回転する<sup>35</sup>。

図 17（左）、図 18（右）

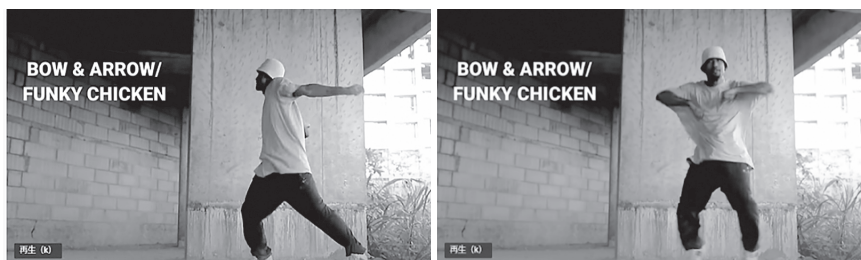


図17、図18は、[Hiphop] のbow&allow という技である。両腕を弓を引くように開いてから曲げる<sup>36</sup>。

35 Power Bboys Daily [2017] 「Awesome Break Dance Flare Compilation」 (<https://www.youtube.com/watch?v=qkrJ6GnMrb0>)、2020年11月13日最終確認

36 Rhhyime koko 「23Hip-Hop Steps With Names」[Chapter II | DanceVocabularyNew] [2020] (<https://www.youtube.com/watch?v=QyRxfz9Lesc>)、2021年1月13日最終確認

図19（左）、図20（右）



図19、図20は、New Jack Swingのランニングマンという技である。走るような姿を再現するために、片足ずつ交互に床を擦りながらスライドさせる<sup>37</sup>。

図21（左）、図22（右）



図21、図22は、[New Jack Swing]のロジャーラビットという技である。ステップを踏みながら、足を交互に入れ替える。このジャンルはこのMVの歌手であるMC Hammerにより多くの技が生まれた<sup>38</sup>。

---

37 Dani Torrey – Cabello「HIP HOP–Running Man (Follow Along) Beginner」[2020] (<https://www.youtube.com/watch?v=g80eid6f4Pc>)、2021年1月3日最終確認

38 MC Hammer – 「UCan't Touch This (official Music Video)」[2009] ([https://www.youtube.com/watch?v=otCpCn0l4Wo&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=otCpCn0l4Wo&feature=emb_logo))、2021年1月3日最終確認

図 23（左）、図 24（右）



図23、図24は、[House] のslide という技である。床を擦りながら重心を移動させる<sup>39</sup>。

図 25（左）、図 26（右）



図25、図26は、[House] のクラブという技である。両膝を閉じるときには両足のつま先をつけ、両膝を開くときには両足のかかとをつけるという動作を連続して行う。さらにこの動作をしながら、重心の移動を行う<sup>40</sup>。

これに対して、上で挙げたストリートダンス以外のダンスである [belly] [ballet] [hula] [flamenco] [社交] [tap] においては、アップダウンのような

---

39 TAIKI のHOUSE DANCEチャンネル [2018] 「【保存版】スライドレベル 1～5 vol.81」  
(<https://www.youtube.com/watch?v=VjxyDu5EwAE>)、2021年1月13日最終確認

40 TAIKI のHOUSE DANCEチャンネル [2019] 「クラブで気持ちよくノろう！ vol.121」  
(<https://www.youtube.com/watch?v=Z7F68KWokgk>)、2021年1月7日最終確認

共通のリズムの取り方は存在しないが、それぞれにおいて独自に発展していった技（すなわち「型」）が存在する。これらの型の写真を以下に示しておく。

図 27（左）、図 28（右）

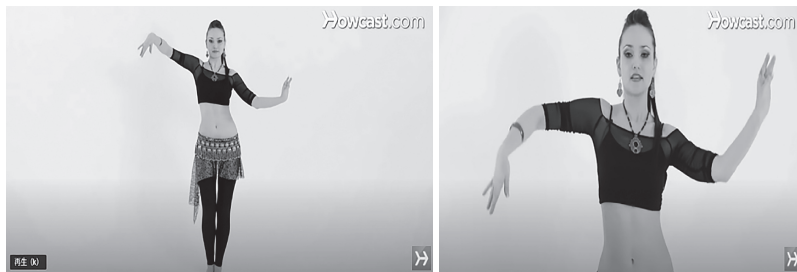


図27、図28は、[Belly] のスネイクアームという技／型である。これは、両手を蛇のようにくねらせる技である<sup>41</sup>。

図 29（左）、図 30（右）



図29、図30は、[Ballet] のタンデュという型である。足の指先を丸める Ballet 独特の動きである<sup>42</sup>。

---

41 Howcast [2011] 「How to Do|Snake arms|Belly Dancing」 (<https://www.youtube.com/watch?v=SPFIR0G1L3A>)、2021年1月7日最終確認

42 Dancemelody [2013] 「BattementTendu」 (<https://www.youtube.com/watch?v=rUJcqAkCGvA>)、2020年12月21日最終確認

図 31（左）、図 32（右）

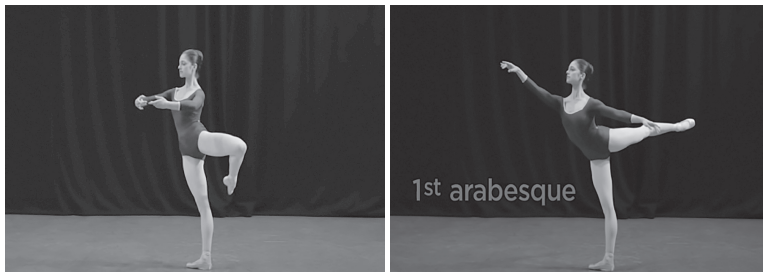


図31、図32は、[Ballet] のアラベスクという型でこれは二つの型の複合となる<sup>43</sup>。

図 33（左）、図 34（右）



図33、図34は、[Hula] のカオという型である。膝の前後の位置を変えることで、Hula の独特の腰の動きを生み出す基本の動きである<sup>44</sup>。

43 Royal Opera House [2011] 「Insight:Ballet Glossary-Arabesques」 (<https://www.youtube.com/watch?v=SmRfm1ihGg>)、2020年12月21日最終確認

44 Hula channel/QUALITAS [2020] 「【フラステップ】 Ka'o (カオ)」 (<https://www.youtube.com/watch?v=b1JRK9pVvyU&t=123s>)、2021年1月11日最終確認



図 35（左）、図 36（右）



図35、図36は、[Flamenco] のプエルタという型である。この体勢で体の軸を定めて回転する<sup>45</sup>。

図 37（左）、図 38（右）



図37、図38は、[社交] のナチュラルターンという型である。二人の呼吸を合わせて回転する<sup>46</sup>

---

45 StepFlix [2018] 「StepFlix Flamenco technique, lesson14: vuelta quebrada turn」 (<https://www.youtube.com/watch?v=G3YJ6N6vWEI&t=104s>)、2021年1月11日最終確認

46 Yuusuke ww [2017] 「ナチュラルターン、スピントーン」 (<https://www.youtube.com/watch?v=MHTQLvCy6gs>)、2021年1月17日最終確認



図 39（左）、図 40（右）

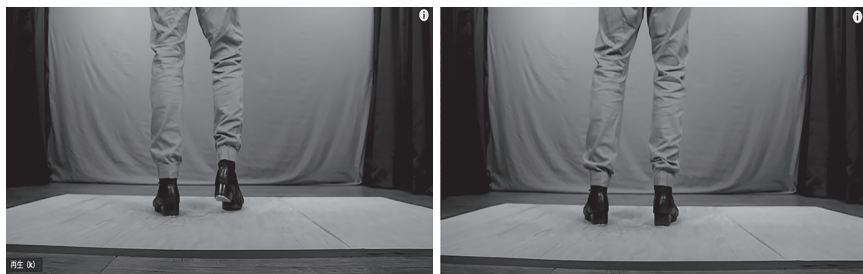


図39、図40は、[Tap] のball&heelという技である。靴のつま先(ball)と踵(heel)を床に当てて音を鳴らす<sup>47</sup>。

ストリートダンスとストリートダンス以外のダンスの共通点として、このようにそれぞれの踊りを特徴づける技（すなわち「型」）が存在することが挙げられるが、この両者には大きな違いもある。それは、バトルの文化の有無である。ストリートダンスにはバトルの文化が存在し、即興性が求められる。これが、ストリートダンスにおける最大の特長であり、ストリートダンスをストリートダンスたらしめている主たる要因であるともいえる。それゆえ、競技としての要素を強く持っているといえよう<sup>48</sup>。

ここでは、[break]を例に考えてみる。その際、清水・岡田の論文<sup>49</sup>を参照しつつ、また筆者自身がダンスを実際に行っている人たちの観察を通じた考察を述べつつ、検討を進めていくこととする。

---

47 The Dance Prof [2018] 「TAP DANCE BASICS – 5 Steps EVERY Beginner should Master」 (<https://www.youtube.com/watch?v=HZruz8wO0g8&t=107s>)、2021年1月11日最終確認

48 2024年のパリ五輪では[break]ダンスが正式種目として採用された。（「読売新聞」2020年12月16日）とはいえ、スポーツ競技として行われる[break]の場合は、それぞれの型を忠実に行うことに対して評価されることになるため、自由に踊るという本来のダンスの楽しさから乖離したものになってしまうこともあるかもしれない。

49 清水大地・岡田猛 [2012]、pp.488-492

たとえばバトルの最中に、重心のずれなどが起きたとしよう。その時に、その体勢から次の体勢に移る際に、新しい動きが生まれる余地が生じる。その動きが新しい技の萌芽となる場合もある<sup>50</sup>。また、即興性のあるブレイクダンスのみでなくストリートダンス全般にいえることだが、バトルという舞台を通じて相手の技を盗んだり、相手の技よりも高度な技を魅せることでバトルに勝つことを目指したりするという面がある。このように、ストリートダンスにはバトルという即興性の高い状況の中から新しい技が生まれる余地がある。そのような特性があるがゆえ、これらのダンスには、他者との「空間の共有」があるといえる<sup>51</sup>。野村の指摘は、パフォーマンスをするダンサーと観客が、バトルが行われている同じ空間において、バトルという形式で展開されるダンスパフォーマンス空間を共に作り出しているということでもあるといえよう。

これに対して、ストリートダンス以外のダンス、すなわち [belly] [ballet] [hula] [flamenco] [社交] [tap] では、バトルという舞台ではなく、ショーやコンテストにおいて披露される。ストリートダンスにもショーやコンテストがあり、そのような場で観客の前でパフォーマンスを行うこともある。例えば [ballet] においてひとつの舞台を作り上げるためにダンサーたちが共に協力し合うことから、このことは明らかであろう。ストリートダンス以外のダンスにおいては、決まった技や振り付けを何度も練習したり、そのような練習を通して、決まった技や振り付けから派生させた自分の色やスキルを魅せたりすることを目標としている面がある。ストリートダンスのように即興性はないことで、これらのダンスにおいては、新しい技が生まれる過程も異なると考えられる。

---

50 練習の中で技を作り上げることもあるため、新しい技が生まれる時には、必ずそのようなプロセスを経ているというわけではない。

51 野村良雄 [1996]、pp1364-1365

#### 4.1.2 ストリートダンスとコンテンポラリーダンスの比較

次に「contemporary」の定義づけをする。

「contemporary」は、「典型的古典舞踊の構成原理、素材、方法などを踏み台にしながらもそれを変形する中で成立」<sup>52</sup>したものであるが、抽象的すぎるために、最適な定義づけをすることは困難であるように思われる。ここでは、新しい表現をみつける上で他者の影響が少なく個人の感性でストーリーを自分で作ってそれを表現するものであるとする。そのようなそれぞれのストーリーの中で最も適した表現に一番近い身体の「言語」のようなものを当てはめるといったアプローチによりダンスが作られていく。そのような意味で、「contemporary」には、ストリートダンスにおけるような即興性はない。

#### 4.1.3 ストリートダンスとコンテンポラリーダンスの両方の要素を持つ「jazz」

ストリートダンスと「contemporary」の両方の要素を持ち合わせていると考えられるのが、「jazz」がある。「Jazz」はバレエの技（ターンなど）の「型」を基にそこから派生しており近年の「jazz」はhiphop jazzダンスやstreet jazzダンスなど決まった形がないのが特徴である。多くはないがバトルシーンで披露される場面もあり、そういった「jazz」ダンサーはストリートダンスのような即興性を持ち合わせている。多くの「jazz」ダンサーはショーやコンテストを目標に「contemporary」のような発想で作品を作り、その振り付けを何度も何度も練習することで自分の身体の癖や魅せ方を発見し表現を向上させる。このようにストリートダンスと「contemporary」の両方の要素を持ち合わせていると考える。

ここまでの考察を基に、ストリートダンス、ストリートダンス以外のダンス、「contemporary」、「jazz」について、「型」と即興性の分類を表にまとめると、以下のようになる。

---

52 白須尋子 [1996]、pp.131-140

表1 「型」と即興性の分類

	技「型」	バトルにおける即興性
[hiphop] [break] 等のストリートダンス	○	○
ストリートダンス以外のダンス	○	×
[contemporary]	×	×
[jazz]	△	△

出典：筆者作成

今回ダンスを大きく4つに分類し、技「型」と即興性の有り無しについて比較した。その結果上記のようになった。

技「型」があるものは、ストリートダンスとストリート以外のダンスである。しかし、[contemporary] は技「型」が見られない。

即興性においては、ストリートダンスには見られたが、ストリートダンス以外のダンス、[contemporary] においては、ストリートダンスのような即興性はないと考える。この理由は、ストリートダンスのバトル文化の存在である。ダンスバトルとは、ストリートダンスの要素であるMCの進行の元に、DJがランダムに音楽を流し、そこでダンサーはその音に合わせて、すなわち、音に「乗る」ことにより、即興で自分のダンスを披露し、スキルを競うものである。そのために勝敗が存在する。このバトル文化の存在において、他者との「空間の共有」がなされる。その場の空気を感じ、相手の音楽へのアプローチを感じながら相手の技を真似たり、それを超える技を披露したりして、いかに音楽に乗ることができて<sup>53</sup>自分を魅せるかを目的に戦う。この元からある自分の感性とスキルに他者の影響を生じて即興性を生みだしているのがストリートダンスにおける即興性の特徴である。そのような意味での即興性は、ストリートダンス以外のダンス、[contemporary] には存在しない。

53 その意味で、音に「乗せる」というアプローチによりダンスをする [contemporary] や [jazz] とは異なるアプローチにより、パフォーマンスがなされるといえよう。

尚、[jazz] ダンスを△とした理由は、[jazz] ダンスはストリートダンスの要素とバレエの両要素を含んでおり、数は少ないがバトルに出る [jazz] ダンサーが存在し、そのようなダンサーはストリートダンスにおける即興性も持ち合わせているが、[contemporary] のように技「型」に当てはまらない要素もあるためである。

以上の4つのダンスを技「型」と即興性で比較すると、ストリートダンスと [contemporary] ダンスにおいては共通点が見られなかった。[contemporary] ダンスは技「型」が存在せず、ストリートダンスのような他者との空間の共感においての即興性が存在しない。

では、[contemporary] ダンスはどのように表現しているのか。[contemporary] ダンスのもその場で踊る場面は存在する。型がないのにどのように踊っているのか。そのプロセスを共通点が見られなかったストリートダンスと比較しながら明らかにしていく。

## 4.2 ダンスにおけるシャーマンの「トランス状態」に入る感覚

### 4.2.1 ダンスにおけるトランス状態とは

表現をする上で時に自分の意識を超えたものに会おう感覚がある。古代においては、超自然現象「アニミズム」に対し人々は神へ祈りを捧げるために神と交流する「シャーマン」を必要とした。このシャーマンは、自らトランス状態に入り通常の人としての人格を放棄して神と交わりお告げを受けこの時に共同体の祈りとしての呪術儀式が「芸術」のはじまりであるという説がある<sup>54</sup>。

踊る中で自分の意識から外れ何かに誘われて踊る感覚、表現者が表現を行い、受け取り側に伝えるまでには練習があり本番が存在する。その場で踊る本番は練習の時をはるかに凌駕するようなパフォーマンスとなることがある。

---

54 沖浦和光「なぜ人は歌い、踊り、感じるのか」『Meet 日本の歴史と文化から考える人権』Vol.2、(<https://www.jinken.ne.jp/be/meet/okiura/okiura2>).

その時このようなトランス状態と似ている自分の意識を超えた「狂う」または「幽霊と戯れる」<sup>55</sup>という状態になるかもしれない。

続く項ではこの練習をA、本番をBとし、これまで本節で明らかになったストリートダンスと「contempoeary」に違いを基にこのAからBの過程の違いを明らかにする。

#### 4.2.2 「やっていること」の相違

AがあってBになる表面的な形式はどのダンスも同様であると考えられる。しかし「contemporary」と「hiphop」や「break」などのストリートダンスとは「やっていること」が異なる。両者は、AにおいてもBにおいても異なるといえる。

ストリートダンスにおけるAは、「型」を意識的に何度も練習するものである。そうすることで、踊り手はBに行くにつれて自分の癖や魅せ方を習得する。そしてBではこの「型」が勝手に外れる。それは、本番がストリートダンスはバトルの場合、他者の空気感や場の空気の共有により無意識的に型が外れると考えるからである。「型」があることで、共通のもの（コード）があるため伝わりやすいといえよう。

それに対して「contemporary」においては、Aは「型」が存在しない。そのため、音楽に合わせて自分の表現したい「記号」としての身体の動かし方に最初からフォーカスし、表現を探す作業を必要とする。これは言葉を喋るという感覚に近いものだといえよう。その人自身の感覚で「言いたいことを伝える」ことを言葉ではなくダンスで行っているといえる。

そのため、Aの時点で自分の意識を超えて無意識に「狂う」ように、自身の感覚にフォーカスし、適する身体の「記号」を探してBに入る。

要約すれば次のようになるだろう。ストリートダンスでは、Aで「型」を練

---

55 北村明子 [2020]、pp.21-48

習し、Bに入る過程で自分の癖や魅せ方を習得し、Bで他者の影響を受けて無意識に「型」を超えるパフォーマンスを行う。それに対し[contemporary]では、Aの時点で「型」がないために、個人の感覚に意識的にフォーカスすることで無意識的なパフォーマンスをBの前に行っているといえる。

このことは、次のようなことであるともいえよう。ストリートダンスにおいては共通のもの（コード）<sup>56</sup>があるために受け取り側に伝わりやすい。それに対して、共通のもの（コード）を持っていない[contemporary]においては、その人自身の感覚で喋るために、共通のもの（コード）を持っていない人には伝わりにくい。

ストリートダンスと[contemporary]では、AからBに進む過程において、このような相違があるといえる。この点に関して示したのが、次の表である。

表2 練習から本番に進む過程の相違

	A（練習）	→	B（本番）
[hiphop] [break] 等のストリートダンス	「型」を練習する。 (共通のコードがあるから伝わりやすい)		意識した練習の中で自分の癖や魅せ方が無意識に加わり、他者との場の空間の共有により「型」を超える「狂う」ような状態に入る。
[contemporary]	「型」がないため、最初から音楽に合わせて自分の表現したい「記号」としての身体の動かし方に最初からフォーカスする。		練習ですでに無意識に「狂う」ような状態に持っていく。

出典：筆者作成

56 このような「共通のコード」によってコミュニケーションが可能になるということについては、言語学においては、丸山 [2008] pp.71-72ページ参照。

## 5 コンテンポラリーダンスにおける独自の文法

### 5.1 自分が表現するために踊る

[contemporary] は、自由さを求めて発展してきた。ここで、自由には「共通のコードからの逸脱」としての自由と、「その瞬間に存在するありのままを肯定する」自由のふたつがあるとしよう。

ストリートダンスがその根底に持っている自由には、社会からの逸脱の面もあるといえる。新しいコードを共通の身分・環境・立場の人と共に作ることで「型」となる。そのため伝わりやすい。

[contemporary] は、そもそも自分でその場（その1回）のダンスのためのコードを作るためストリートダンスより「私」的なダンスである。そうであるため、今ここにいる自分のこの思いを言葉で喋るように、ダンスという手法により「私」を表現する。それゆえに、ストリートダンスによるダンス表現に比べ、[contemporary] によるダンス表現は、観る者に伝わりにくい。

ここにダンスを踊りたい人がいるとしよう。その人がストリートダンスを踊りたいとしたらどうだろうか。ストリートダンスは、はじめに「型」がある。その音に「はまっている」といったストリートダンスを愛好するものが共有しているといえる共通の感覚や、格好良さや憧れといった感情に突き動かされたことで踊ろうとしているともいえよう。そして憧れといった感情を抱く対象であるダンサーの「型」を再現（すなわち「真似る」）しようと練習に励むことだろう。そして練習を繰り返すことで、「型」が自分にはまっていく。そしてその先には、自分の色や新しいものを求めてその「型」を外すために逸脱する作業を行うこととなる。

これに対し、[contemporary] の場合は、自分の感覚を最大限に表現するための表現の追及を、他者を介さずに喋る言葉を探すように行う。ダンスは表現が「型」のように収束していくのかもしれない。しかし、[contemporary] はそのような「型」への収束を頑なに拒んでいるのではないか。それは、他者に



見せるのではなく、自分が表現するために踊る面が存在すると考えるからである。具体的に言うと、ある対象を見たり聞いたり、触ったり、匂いを嗅いだり、味わったりと五感で感じると、後に対象の記憶やイメージ、概念を再び思い描く際に、言葉で再現する場合は、共通のコード（言語）を用いて表現するが、[contemporary]で再現する場合は、おそらく共通のコードのようなものを用いずに表現する。この共通のコードとは、言語であれば、連続してつながっている世界の中で、分節化し、それが概念（共通の記号として記号化）となり、名づけられるものである。[contemporary]ダンスにおいては、連続して繋がっている身体の可動性（表現の可能性）の世界の中で自分（踊る人）からすれば分節化されているが、共通のコードがないために受け手側（他者）からすれば、未分化のままに見えるのかもしれない。それは、解釈や理解は見る側に完全に委ねられているということであると言える。

自分には内側と外側があり、外側の自分を身体とすると、内側の自分は、内面の自分である。この内面の自分は、自分の中に存在する心の（ありよう・状態・動き）でありそれまでの個人の歩みの中で生まれた経験と蓄積であり記憶である。この内面の自分を論理や理性でなく直感や感性によって表現する手段は様々に存在する。しかし、それらはそれぞれの枠の中で制限やルールの中で行っているものである。[contemporary]にあるのは「ダンスであること」だけである。ルールや制限がなく身体による表現のみである。

このことを象徴的に表している [contemporary] の一場面を見てみよう。それが以下に示す図41－48である。

これは「さしよりかすみわ」という、筆者が組んでいる二人組ダンスユニットによる、2018年11月3日に行われたパフォーマンスの一部である。制作期間は2018年10月から一か月である。

図 41 - 42



図 43 - 44



図 45 - 46



図 47



このパフォーマンスのイメージは、「複雑なツタの中にあるマグマ」というものである。内に閉まっているマグマのような力強さを表現した。そのために弱さを見せる表現も不可欠として、「弱さ」「儚さ」「強さ（マグマのように内側にある静かであるが、自分の芯を表す）」を表現の中に入れ込んだ。具体的には、ツタのように複雑に絡み合うパフォーマンスとして、それらの感情を表現した。このパフォーマンスは、ルールや制限がなく身体による表現のみである [contemporary] の一面を顕著に表しているように思われる。また、[contemporary] における「伝わりにくさ」をも顕著に表している。

## 5.2 見る側がコンテンポラリーダンスをどのように理解するのか

[contemporary] には、共通のコードがあるわけではない。それを持つもの以外には、言語であれダンスであれ、伝わりにくい。それゆえ、[contemporary] は、極めて「私」的なダンスであるともいえる。では、[contemporary] において、表現者のダンス表現の本質を、受け取り側は適切にそのダンスの本質を読み取っているのだろうか。その本質とは、その場でのこのダンサーのこの表現の本質という意味である。

[contemporary] は喜怒哀楽の人間の感情に寄り添ってそれを身体で表現する。演劇に近いが演劇ではない。物語や台詞が言葉で表現され、ストーリーが明示される演劇とは異なり、[contemporary] にはその言葉がない。そこでは、

表現者が「ない言葉」をダンスとして表現する。それは、表現者が感じる最も適した身体記号を探し、身体表現によりそれをダンスとして表現する。

一人一人生きてきた環境が異なる中で表現者と受け取り側が全く同じ感覚を持つことは不可能だが、抽象的で分からないからこそ自分の感情や経験と結びつけることができるともいえよう。このことはすなわち、表現者の表現したかったことを見る側が十全には理解できないというばかりではなく、最悪の場合、見る側の誰もがその表現を表現者の意図の通りに理解することができないということもありうることを意味する。しかし、「型」のようなものが存在せず、このような表現者の表現したかったことを表現したいように表現するという、表現における「私的」な面こそが、[contemporary]のアイデンティティを構成する要素のひとつであるといえるだろう。

[contemporary]を踊る側もその瞬間の表現を行うと同時に見る側も今ここにいる自分で作品を感じる。この時、すなわち[contemporary]を踊る人がいてそれを見る人がいるという状況の時、心の「動き・動かし・動かされ」というものが生じるといえるだろう。これは、[contemporary]を踊る人においても見る人においても、その状況の中で心が動き、踊る側は見る側の人の心を結果的に動かすことになっているし、反対に、見る側は踊る側の人によって結果的に心を動かされているということを意味している。そして、このことは、先に述べたような表現者の意図を見る側が十全にあるいはまったく理解できないとしても、そのダンスパフォーマンスにより見る側の心が動かされる（もちろん表現者が心を動かし、両者の心が動いていることも含む）という作用こそが、[contemporary]における独自性であるといえよう。それはつまり、ダンス表現を人間が行うようになった時以来のダンスの本来的なありようが、前衛的表現である[contemporary]において、顕在化していると考えられるであろう。それは、競技スポーツ化したダンスにおいて、その「型」の再現や完成度の優劣を競うことが重視されるような方向性とは正反対のものだといえよう。

## 6 おわりに

[contemporary] は人に見せるのではなく自分が表現するために踊る。この意味は、表現者が表現を行い、受け手側に伝える中で [contemporary] が受け手側の解釈に委ねられている点において、表現者と受け手側の解釈が必ずしもイコールになるわけではなく、そこには表現者と受け手側に共通して「心の動き」が生じることにある。表現者が表現を行うまでには心が動き、それを受け手側に伝えるために受け手側の心を動かす表現を行い、受け手側の心が動かされ表現が伝わる。ここに心の「動き・動かし・動かされ」が生じる。表現者も受け手側も基本的な感情・感覚を抱く仕組みは表現者も受け手側も共通していると考える。

人間は、喜怒哀楽の感情が存在する。人間の感情の美しさを表現することは、見ている者を美しい世界へ導いてくれる。リズムに乗って楽しさやカッコよさを表現することも同様であろう。

しかし、人間の感情は美しいものだけではない、見られたくない、醜い、綺麗でない感情だって存在する。このような感情は他人にあまり見られたくないものではあるが、だからこそ人間らしさがそこにはあると考える。[contemporary] は美しさを求めるものではなく人間本来の感情を表現することが出来る。型がないため正解や不正解がないため身体を手段として美しいものだけが芸術ではないという答えを出したのが [contemporary] であろう。古来、様々なダンス表現を行ってきた中で心の「動き・動かし・動かされ」は人間の本質的な部分であり、ダンス表現の根源的部分であり、[contemporary] はこのことを白日のもとにさらすものであるといえよう。

私はダンスを踊り始めて10年、様々な感情を抱えて生きてきた。作品を10歳から創り始め、10歳の頃から自分の見たくない感情や美しいものではないものをその時感じた感情で捉え身体表現として残してきた。当時の自分の作品を見てみると、その時感じた感情が鮮明に蘇る。その時生きていた感覚

として視覚だけでなく、聴覚や嗅覚においてさえも、当時の記憶が蘇る。生きていく中で感じることはこれからも変化していきだろうが、その瞬間の感情を作品として残すことは私の人生の歩みを残し、いつ終わるか分からない自身の歴史を更新していくという感覚を大切に持ちながら、表現しつづけていくことの意義を感じている。これは非常に私的な考えであるが、これこそが[contemporary]における表現する側における「心が動く」ことの、そして表現をすることの根源にあるものだろう。

## 参考文献

### 〈書籍〉

- 高山寺・京都国立博物館 [2016] 『鳥獣戯画から見えてきた世界一国宝 鳥獣人物戯画修理報告書』勉誠出版
- 田河水泡 [1967] 『少年倶楽部名作選 のらくろ漫画全集』講談社
- 竹中淑子・根岸貴子 [2012] 『はじめての古事記 日本の神話』徳間書店
- ジェフ・チャン、DJクール・ハーク (著) 押野素子 (翻訳) [2016] 『ヒップホップ・ジェネレーション』リットーミュージック社
- 野村良雄 [1996] 『標準音楽辞典』音楽之友社
- アレッサンドロ・バリッコ (草皆伸子訳) [2006] 『イリアスロイアで戦った英雄たちの物語』白水社
- バーバラ・レオニ・ピカード (著) 高杉一郎 (翻訳) [2014] 『ホメーロスのオデュッセイア物語』岩波書店
- ヘロドトス (著) 松平千秋 (翻訳) [2008] (上) 『歴史』岩波書店
- L・A・ポール (著) 奥田太郎・薄井尚樹 (翻訳) [2017] 『今夜ヴァンパイアになる前に：分析的実存哲学入門』名古屋大学出版会
- 丸山圭三郎 [2005] 『言葉とは何か』筑摩書店 (夏目書房版 (1994年) の改訂版)
- 水村光男 [2016] 『ラスコーと世界の壁画』宝島社
- 宮崎駿 [1996] 『出発点』徳間書店
- 山田陽 [2017] 『響き合う身体 音楽・グルーヴ・憑依』春秋社
- ピアーズ・ヴィテブスキー (著) 中沢新一 (翻訳) [1996] 『人類の知恵シャーマンの世界』創元社

〈論文〉

- 家島明彦 [2007] 「心理学におけるマンガに関する研究の外観と展望」『京都大学大学院教育学研究科紀要』第53号、pp.166-180
- 内田広由紀 [2011] 「視覚言語 意識下の感情を視覚の体系を通して翻訳するしくみ」『視覚デザイン研究所 日本デザイン学会研究発表大会概要集』56、pp.1-2
- 大平英樹 [2015] 「共感を創発する原理」『エモーション・スタディーズ 1 (1) 名古屋大学 日本感情心理学会』pp.56-62
- 北村明子 [2020] 「身体が語り得ること／舞踊創作の現場から」『中部哲学会年報 シンポジウム「身体、表現、イメージ」』第51号、pp.21-48
- 清水大地・岡田猛 [2013] 「ストリートダンスにおける即興的創造過程」『認知科学』第20巻第4号、pp.421-438
- 清水大地・岡田猛 [2013] 「ストリートダンスにおける新しい表現の発展とその影響」『認知科学』第20巻第4号、pp.488-492
- 白須尋子 [1996] 「コンテンポラリーダンス論」『東京学芸大学紀要、第5部門、芸術・健康・スポーツ科学』48号、pp.131-140
- 出口敦美 [1991] 「芸術における「表現」概念の一考察 - 「表現」概念の多義性と表現主義 - 」『岩手大学教育学部研究年報』第51巻第2号、pp.1-17
- 豊原正智 [2014] 「アニメーションの技術と感情移入—写実性と絵画性—」『芸術：大阪芸術大学紀要 (37)』、pp.29-39
- 中野優子・岡田猛 [2015] 「コンテンポラリーダンスにおける振付創作過程の解明」『舞踊学』第38号 舞踊学会、pp.43-55
- 原田奈名子 [2018] 「「リズムダンス」再考」『京都女子大学教育学部紀要』第14号 (2)、pp.1-12
- 藤井菜摘 [2018] 「コンテンポラリーダンサーは音楽からどのような発想を得て舞踏動作に至っているのか—再生刺激法を用いてダンサーの思考を明らかにする—」『音楽文化教育学研究紀要』第30号、pp.73-80
- 松尾千秋 [2015] 「表現運動・ダンス」におけるリズムの概念」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部、文化教育開発関連領域』第64号、pp.265-273
- 簗島桂 [2005] 「コンテンポラリー・ダンスはどのようにフランスから発生したか」『日本女子体育大学紀要』36号、pp.89-99

〈ウェブサイト〉

一般社団法人日本ベリーダンス連盟「ベリーダンスとは」(<http://japanbellydance.com/bellydance/>)、2020年10月20日最終確認

沖浦和光「日本の歴史と文化から考える人権Vol.2 なぜ人は歌い、踊り、感じるのか」ふらっと10代の人権情報ネットワーク (<https://www.jinken.ne.jp/be/meet/okiura/okiura2.html>)、2020年10月17日最終確認

手下倭里亜「フラメンコの歴史とは？スペインの伝統芸能」All About趣味 (<https://allabout.co.jp/gm/gc/424534/>)、2020年10月20日最終確認

日本スイングダンス協会「スイングダンスとは」(<http://swinginjapan.com/lindyhop/>) 2020年10月20日最終確認

三宅正「ストリートダンスの歴史1970年代の時代背景と音楽の関係性」All about趣味 (<https://allabout.co.jp/gm/gc/427116/>)、2020年12月7日最終確認

BLESSING CHURCH INTERNATIONAL「ソウルミュージック音楽とは？おすすめ名や歴史・ゴスペルとの関係」(<https://blessingchurch.org/blog/2019/10/10/soul/music>)、2020年8月27日最終確認

DEWS「24種類のダンスを経験者が徹底解説！」(<https://dews365.com/archives/14255.html>)、2020年10月19日最終確認

MuuMuuMama「フラダンスの起源とその歴史」(<https://allabout.co.jp/gm/gc/424534/>)、2020年9月14日最終確認

〈動画サイト：本文中に掲載した画像の参照元〉

おどりびと [2020]「[soul lesson] ティルト/ tilt 一番やりやすい形で・GUINNESS ユリッレッスン風景」(<https://www.youtube.com/watch?v=kW70aG28Jjk&t=84s>)、2021年1月11日最終確認

Clover Do [2019]「【Catgroove】Smile|soul&punking|Choreography by Katt Wang」(<https://www.youtube.com/watch?v=x-AnrZo44Xs>)、2020年12月21日最終確認

Dancemelody [2013]「BattetmentTendu」(<https://www.youtube.com/watch?v=rUJcqAkCGvA>)、2020年12月21日最終確認

Dani Torrey - Cabello [2020]「HIP HOP- Running Man (Follow Along) Beginner」(<https://www.youtube.com/watch?v=g80eid6f4Pc>)、2021年1月3日最終確認

FavMocha [2008]「dance style lockers 04 twirl pt. 1」([https://www.youtube.com/watch?v=UvdmQ2\\_J0GE](https://www.youtube.com/watch?v=UvdmQ2_J0GE))、2020年12月21日最終確認

HowcastArtsRec [2011]「How to Do an Arm Swing|Krumping」([https://www.youtube.com/watch?v=cfc-czpK7YM&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=cfc-czpK7YM&feature=emb_logo))、2021年1月3日最終確認

Howcast [2011]「How to Do|Snake arms|Belly Dancing」(<https://www.youtube.com/watch?v=SPFIR0G1L3A>)、2021年1月7日最終確認

Hula channel/QUALITAS [2020]「【フラステップ】Ka'o (カオ)」(<https://www.youtube.com/watch?v=b1JRK9pVvyU&t=123s>)、2021年1月11日最終確認



- JfonK01 [2007] 「BooGaloo Sam part1」 (<https://www.youtube.com/watch?v=929Y8LQrUGE>)、2020年12月12日最終確認
- Korea waackinginternational [2014] 「[WI2014] JUDGE DEMO -TYRONEPROCTOR (USA)」 ([https://www.youtube.com/watch?v=52LCjVu5alU&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=52LCjVu5alU&feature=emb_logo))、2021年1月7日最終確認
- MC Hammer [2009] 「UCan't Touch This (official Music Viseo)」 ([https://www.youtube.com/watch?v=otCpCn0l4Wo&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=otCpCn0l4Wo&feature=emb_logo))、2021年1月3日最終確認
- MetroPolitanDesignLab [2020] 「breakchair」 (<https://i.pinimg.com/originals/6b/33/f3/6b33f3b689f4dbc5bcea98ca185b2485.jpg>)、2021年1月17日最終確認
- Power Bboys Daily [2017] 「Awesome Break Dance Flare Compilation」 (<https://www.youtube.com/watch?v=qkrJ6GnMrb0>) 2020年11月13日最終確認
- Rhyme koko [2020] 「23Hip-Hop Steps With Names|Chapter II | DanceVocabularyNew」 (<https://www.youtube.com/watch?v=QyRxfz9Lesc>)、2021年1月13日最終確認
- Royal Opera House [2011] 「Insight:Ballet Glossary-Arabesques」 (<https://www.youtube.com/watch?v=SmRrfm1ihGg>)、2020年12月21日最終確認
- StepFlix [2018] 「StepFlix Flamenco technique,lesson14:vuelta quebrada turn」 (<https://www.youtube.com/watch?v=G3YJ6N6vWEI&t=104s>)、2021年1月11日最終確認
- TAIKIのHOUSE DANCEチャンネル [2019] 「クラブで気持ちよくノろう！ vol.121」 (<https://www.youtube.com/watch?v=Z7F68KWokgk>)、2021年1月7日最終確認
- TAIKIのHOUSE DANCEチャンネル [2018] 「【保存版】スライドレベル1～5 vol.81」 (<https://www.youtube.com/watch?v=VjxyDu5EwAE>)、2021年1月13日最終確認
- The Dance Prof [2018] 「TAP DANCE BASICS - 5 Steps EVERY Beginner should Master」 (<https://www.youtube.com/watch?v=HZruz8wO0g8&t=107s>)、2021年1月11日最終確認
- Yuusuke ww [2017] 「ナチュラルトーン、スピントーン」 (<https://www.youtube.com/watch?v=MHTQLvCy6gs>)、2021年1月17日最終確認
- Zapparr@JPN [2008] 「original lock dance /the lockers」 (<https://www.youtube.com/watch?v=2iN5CfVPRzU>)、2021年1月3日最終確認
- Zen [2013] 「How to Breakdance:Top Rock Level!!」 (<https://www.youtube.com/watch?v=zrHv3KBXbmQ>)、2020年1月7日最終確認

画像提供協力者

八反田 佳邑さん（さしよりかすみわメンバー）

（注）本論文は令和2年度現代ビジネス学部卒業研究懸賞論文において、最優秀論文（優秀作）に選出された作品である。

